

令和7年

署勢概要



川崎市麻生消防署



目 次

総 括

麻生消防署のあゆみ -----	1
管内概況、消防庁舎概要 -----	10
署所の受持区域・隣接応援区域 -----	11
麻生消防署・消防団管内図 -----	12
麻生消防署の組織及び事務分掌 -----	13
署員の配置状況、署員の居住地分布状況 -----	14
署所の配置車両 -----	15
警防用資器材の配置状況 -----	16
救助用資器材の配置状況(1) -----	17
救助用資器材の配置状況(2) -----	18
消防水利等の状況 -----	19
麻生消防団の組織及び人員 -----	20
消防団器具置場施設の現況 -----	21
消防団の配置車両等 -----	22

警 防 活 動

消防隊災害等出場状況 -----	23
消防団の活動状況 -----	24
訓練指導等の業務件数 -----	25

区域内施設状況

防火対象物の現況 -----	26
中高層建築物の現況 -----	27
危険物施設の現況 -----	28
少量危険物施設の現況 -----	29

その他統計等

月別火災件数・損害額等 -----	30
過去5年間の火災統計推移 -----	31
過去5年間の町名別火災件数 -----	32
救急活動状況、救急隊別出場件数・搬送人員 -----	33
行政区別救急出場件数、過去4年間の救急統計推移 救急搬送によるお礼件数 -----	34

付 表

消防協力団体等役員名簿 -----	35
救急告示医療機関、休日急患診療所 -----	36

麻生消防署のあゆみ

昭和60年7月	<p>従前、多摩消防署の管轄区域であった麻生区に、麻生消防署を開設し3出張所（百合丘、柿生、王禅寺）職員数98人、消防車両10台救急車1台を配置、初代署長に金井静春氏が就任した。</p> <p>同時に、麻生消防団は多摩消防団から分離し、団員117人、3分団（麻生東・柿生・東柿生）で発足し、初代団長に市川幹雄氏が就任した。</p> <p>麻生防火協会を5月に設立し、初代会長に石井伊三郎氏が就任し7月に165人の会員で事業を開始した。</p>
(出張所の開設)	<p>(S38.5) 百合丘出張所（当時中原消防署）が開設された。</p> <p>(S44.4) 柿生出張所（当時稲田消防署）が開設された。</p> <p>(S52.5) 王禅寺出張所（当時多摩消防署）が開設された。</p> <p>(S59.8) 川崎市婦人消防隊委員会制度の開始に伴い、多摩地区婦人消防隊委員会が発足（麻生消防署開設とともに、麻生地区婦人消防隊委員会に改称）し、麻生区より130人が委嘱され、委員長に鈴木喜和子氏が就任した。</p>
昭和61年2月	<p>麻生消防署本署に、30m級はしご車が配置された。</p> <p>初代署長金井静春氏が退任され、第2代署長に関和啓三氏が就任した。</p>
4月	<p>麻生消防研究会を設立し、初代会長に山口敬氏が就任して、30事業所会員で事業を開始した。</p>
8月	<p>第2期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に鈴木喜和子氏が就任した。</p>
昭和62年4月	<p>柿生出張所に、救急隊が配置され、麻生消防署の救急業務は2隊で行うこととなった。また、これにより職員数が7人増の105人となった。</p> <p>王禅寺出張所に、消防司令補の所長が配置された。また、全員出場態勢をとるための庁舎の整備が完了し、運用を開始した。</p> <p>麻生消防署本署に、救助工作車が配置され、これにより職員数が10人増の115人となった。</p>
昭和63年4月	<p>第2代署長関和啓三氏が中原消防署長に転任し、第3代署長に杉崎正憲氏が就任した。また職員数が2人増の117人となった。</p>
5月	<p>初代麻生消防研究会会長山口敬氏が勇退され、第2代会長に碓井勝次氏が就任した。</p>

8月	第3期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、北村礼子氏が就任した。
平成元年1月	麻生消防署本署に、水槽付消防ポンプ自動車配置された。
4月	第3代署長杉崎正憲氏が消防局総務部人事教養課長に転任し、第4代署長に小林一也氏が就任した。 川崎市消防署の組織に関する規程の一部改正により副署長制を新設、庶務課を廃止して予防課を新設、警防課から予防係及び保安係を分離して予防課の所属とした。また機械係を廃止して救急係を新設、これを警防第1課の所属とする組織となった。
5月	初代麻生防火協会会長石井伊三郎氏が勇退され、第2代会長に箕輪芳雄氏が就任した。
平成2年3月	麻生消防署本署に、小型動力ポンプ積載車が配置された。
4月	麻生救急隊に、消防司令補の隊長及び百合丘出張所に、消防司令補の所長が配置された。
8月	第4期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、北村礼子氏が就任した。
10月	百合丘出張所庁舎が老朽化のため建替整備され、新庁舎となった。
平成3年4月	第4代署長小林一也氏が臨港消防署長に転任し、第5代署長に根本通正氏が就任した。 柿生救急隊に、消防司令補の隊長が配置された。
7月	麻生消防署に区内の篤志家から、高規格救急車が寄贈された。
平成4年4月	百合丘出張所の通信員廃止に伴う執務体制導入により、職員数が2人減の115人となった。
5月	第2代麻生消防研究会会長碓井勝次氏が勇退され、第3代会長に横山敬次郎氏が就任した。
8月	第5期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、兼子富江氏が就任した。
11月	麻生救急隊に、救急救命士が配置された。
平成5年3月	訓令第5号により、隔日勤務体制は、救急隊を含めて2課制となった。これにより、職員数が9人増の124人となった。
4月	初代麻生消防団団長市川幹雄氏が勇退され、第2代団長に白井静夫氏が就任した。 柿生出張所に、消防司令の所長が配置された。
平成6年3月	麻生消防署本署に、川崎白百合ライオンズクラブから、結成20周年行事として、広報用自動車（トヨタエスティマ8人乗り）が寄贈された。
4月	第5代署長根本通正氏が中原消防署長に転任し、第6代署長に猿谷辰男氏が就任した。

	警防第1課に、消防司令長の課長が配置された。
8月	麻生消防署本署に、調査車（軽自動車）が更新配置された。 第6期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、馬場美智子氏が就任した。
平成7年4月	第6代署長猿谷辰男氏が臨港消防署長に転任し、第7代署長に山田秀久氏が就任した。
	市内全署に、消防監の署長及び消防司令長の警防課長が配置された。 百合丘出張所及び王禅寺出張所に、消防司令の所長が配置された。
11月	柿生出張所に、高規格救急車が更新配置された。
12月	麻生区栗木地内で、学校において大規模な火災が発生し、約1,900㎡焼損した。
平成8年1月	柿生救急隊に、救急救命士が配置された。
	麻生消防署本署に、査察車（I型）が更新配置された。
4月	条例の一部改正が施行され、麻生消防団の定員が140人となり、消防団員の任命が満18歳以上の者となった。
8月	麻生消防署本署に、広報車（ニッサン乗用車）が更新配置された。 第7期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、井上アサ子氏が就任した。
10月	麻生消防署本署に、査察車（II型）が更新配置された。
平成9年3月	百合丘出張所に、消防ポンプ自動車（CD1）が更新配置された。
4月	第7代署長山田秀久氏が定年退職され、第8代署長に高木正毅氏が就任した。
平成10年3月	麻生消防署本署に、消防ポンプ自動車（CD1）が更新配置された。 麻生消防署本署に、高規格救急車が更新配置された。
4月	第8代署長高木正毅氏が定年退職され、第9代署長に佐藤勝氏が就任した。
5月	第3代麻生消防研究会会長横山敬次郎氏が勇退し、第4代会長に田中隆一郎氏が就任した。
8月	第8期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、川端ミヨ子氏が就任した。
平成11年3月	第2代麻生消防団団長白井静夫氏が勇退し、第3代団長に横田豊氏が就任した。
4月	麻生消防ボランティア委員会が、委員長白井静夫氏以下79人により発足した。
平成12年6月	第9期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、内山曜子氏が就任した。
7月	麻生区金程地区で、台風3号の影響（降雨）により擁壁が崩壊し、土砂約15㎡流出して、2世帯5人に避難勧告がでた。

10月 平成13年5月	第9代署長佐藤勝氏が勇退し、第10代署長に辻本典雄氏が就任した。 第2代麻生防火協会会長箕輪芳雄氏が勇退し、第3代会長に市川幹雄氏が就任した。
平成14年8月	第10期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、内山曜子氏が就任した。
平成15年4月	川崎市消防局の組織に関する規程の一部改正により、予防課長が廃止され、副署長が兼務することになり、予防係及び指導係が統合され予防係となった。また、警防統括担当主幹（消防司令長）を設け、警備係を警防係に、消防係を調査係に改めた。
9月	麻生消防署本署に、水槽付ポンプ自動車（平成7年2月初年度登録臨港署配置、平成11年川崎署へ配置・積載水量4t）が川崎消防署から保管換して、更新配置された。
平成16年1月	麻生消防署本署に、救助工作車（Ⅱ型）が更新配置された。 柿生出張所に、救急消毒室が設けられた。
2月	王禅寺出張所に、消防ポンプ自動車（CD1）、柿生出張所に、高規格救急車が更新配置された。
3月	麻生消防署本署に、はしご付消防自動車（40m級）が更新配置された。
4月	第10代署長辻本典雄氏が定年退職され、第11代署長に松尾茂美氏が就任した。
5月	第4代麻生消防研究会会長田中隆一氏が勇退され、第5代会長に梶俊夫氏が就任した。
6月	第11期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、元吉千恵子氏が就任した。
10月	川崎市消防団員任命条例が改正され、消防団員の入団制限を「市内に、居住し、又は勤務する18歳以上の志操堅実な者」となった。
平成17年3月	川崎市消防団の組織及び消防団員の階級等に関する規則が改正され、消防団本部役員に広報部長をおくこととなった。これにより、本部役員が7人となった。 麻生消防団麻生東分団高石班が移転し、新築された。
4月	初代麻生消防ボランティア委員会委員長の白井静夫氏が勇退し、第2代委員長に尾作泰治氏が就任した。
7月	麻生消防関係団体（消防団・防火協会・消防研究会）設立20周年記念式典・祝賀会が新百合ヶ丘21ホールにて行われ、市川幹雄防火協会会長が実行委員長を務めた。
11月	麻生地区放火防止対策委員会が設立された。 麻生消防署本署に、小型動力ポンプ積載車が更新配置された。

平成18年2月	麻生消防署本署に、高規格救急車が更新配置された。
6月	麻生消防署本署に、査察車(Ⅱ型)が更新配置された。 第12期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、曾我恵美子氏が就任した。
9月	麻生消防団柿生分団片平班が移転し、新築された。
平成19年1月	柿生出張所に、消防ポンプ自動車(CD1)が更新配置された。
2月	万福寺地内及び早野地内で、大規模災害を想定して長距離ホース延長及び中継送水訓練を実施し、消防署・消防団でホース90本を延長した合同訓練を実施した。
4月	第11代署長松尾茂美氏が臨港消防署長に転任し、第12代署長に富岡隆氏が就任した。 川崎市消防局の主幹・主査等に係る担当事務の指定に関する規程の一部が改正され、副主幹を課長補佐・係長に改め、権限を課長補佐として扱い、併せて消防職の階級のうち、消防士長に主任制が設けられた。
6月	第2代麻生消防ボランティア委員会委員長の尾作泰治氏が勇退し、第3代委員長に越畑敬一氏が就任した。 麻生区王禅寺地内で、歴史的神社(1826年建立)54㎡が放火により焼失した。
9月	麻生地区放火防止対策委員会を解散し、麻生区役所の「麻生区安全・安心まちづくり協議会」に業務が集約された。 麻生区早野地内で、山積みした剪定枝1,500㎡のうち500㎡焼失し、消火作業に7日間と8時間を要した。
平成20年6月	第13期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、吉垣君子氏が就任した。
10月	麻生消防署本署に、査察車(Ⅱ型)が更新配置された。
平成21年4月	第12代署長富岡隆氏が警防部の部長に転任し、第13代署長に大川原勝吉氏が就任した。 川崎市消防局の組織に関する規程の一部が改正され、消防署の副署長の予防課長兼務を廃止して、新たに予防課長を設けた。また、予防課危険物担当を廃止、危険物・査察係を設けた。
5月	第3代麻生消防団団長横田豊氏が勇退し、第4代団長に小澤智氏が就任した。 第3代麻生防火協会会長市川幹雄氏が勇退し、第4代会長に横田豊氏が就任した。
平成22年3月	百合丘出張所に、消防ポンプ自動車(CD1)が更新配置された。 柿生出張所に、高規格救急車が更新配置された。

6月	第14期麻生地区婦人消防隊委員会委員長に、碓井美枝子氏が就任した。
10月	麻生消防署本署に、広報用自動車（ニッサン、セレナ）が更新配置された。
平成23年3月	麻生消防署本署に、第1部隊（CD1）が更新配置された。 麻生消防署本署に、第2部隊（水Ⅱ型）水槽付ポンプ自動車・積載水量（2t）が更新配置された。
4月	第13代署長大川原勝吉氏が定年退職し、第14代署長に小林英木氏が就任した。
5月	第3代麻生消防ボランティア委員会委員長越畑敬一氏が勇退し、第4代委員長に横山芳夫氏が就任した。
平成24年3月	消防団本部と各班器具置場にMCA無線機が新配置された。
4月	麻生消防署本署に高規格救急車が更新配置された。 第14代署長小林英木氏が中原消防署長に転任し、第15代署長に高嶋敏氏が就任した。
6月	第15期麻生地区婦人消防隊委員長に、碓井美枝子氏が就任した。
9月	川崎市総合防災訓練をあさおふれあいの広場、はるひ野小・中学校で実施した。
10月	麻生消防署本署に広報車Ⅰ（ニッサン、セレナ）が更新配置された。
12月	麻生消防署本署に救助工作車Ⅱ型が更新配置された。
平成25年1月	柿生出張所が栗木台4-2-1の仮庁舎へ移転し業務を開始した。
4月	第4代麻生消防団団長小澤智氏が勇退し、第5代団長に土方泰司氏が就任した。
12月	麻生消防署と麻生区片平に所在するタカハシレーシングとの間で大規模な地震災害発生時、迅速な情報収集活動等を行う消防災害支援チームの発足に向け、「災害時における協力関係を構築する協定」を締結した。同時にタカハシレーシングが持つ機動力で活動する「麻生消防災害支援チーム」を発隊した。
平成26年3月	柿生出張所の改築新庁舎（片平2-30-7）が完成し、業務を開始した。 川崎市消防団の消防団員の定員を定める規則の一部改正により、麻生消防団の定員は153人となり、140人から13人増となった。
平成26年4月	栗木出張所（栗木台4-2-1柿生出張所の前仮庁舎）が開設された。 開設に伴い、消防隊1隊及び救急隊1隊が配置され、車両は、消防ポンプ自動車（CD1）、高規格救急車、予備車両の水槽付ポンプ自動車・

積載水量(2 t)、及びオートバイ(50 c c) 4台が配置され、職員数が25人増の150人となった。

第15代署長高嶋敏氏が中原消防署長に転任し、第16代署長に松澤孝行氏が就任した。

6月 第16期麻生地区婦人消防隊委員長に熊谷百合子氏が就任した。

10月 オートバイ(50 c c) 4台(麻生消防署本署2台、百合丘出張所1台、柿生出張所1台)が配置された。

平成27年2月 百合丘出張所に非常用消防車(CD1)が更新配置された。

3月 麻生消防署本署に非常用救急車(高規格救急車)が更新配置された。

4月 川崎市消防局事務分掌の主たる業務及び川崎市消防署事務分掌の主たる業務の改正により、予防課庶務係に施設装備担当係長1名及び警防課に救急係長2名が新たに配置された。

6月 第4代麻生防火協会会長横田豊氏が勇退し、第5代会長に小澤智氏が就任した。

第4代麻生消防ボランティア委員会委員長の横山芳夫氏が勇退し、第5代委員長に森章氏が就任した。

オートバイ(50 c c) 2台(柿生出張所1台、王禅寺出張所1台)が、配置された。

7月 麻生消防関係団体創立30周年記念式典を、昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワにて実施した。

平成28年3月 王禅寺出張所に消防車(CD1)が更新配置された。

柿生出張所に救急車(高規格救急車)が更新配置された。

4月 第16代署長松澤孝行氏が定年退職し、第17代署長に山本勉氏が就任した。

6月 第17期麻生地区婦人消防隊委員長に、小石陽子氏が就任した。

第5代麻生消防ボランティア委員会委員長の森章氏が勇退し、第6代委員長に和田実氏が就任した。

12月 麻生消防署本署に非常用救急車(高規格救急車)が更新配置された。

平成29年2月 麻生消防団麻生東分団細山班に小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。

3月 柿生出張所に消防車(CD1)が更新配置された。

百合丘出張所に非常用消防車(CD1)が更新配置された。

4月 第5代麻生消防団団長土方泰司氏が勇退し、第6代団長に土方茂氏が就任した。

7月 王禅寺出張所は、長寿命化工事対象施設として改修工事を開始した。それに伴い、仮庁舎(柿生出張所)へ移転し業務を開始した。

平成30年2月	王禅寺出張所の改修工事が完了し運用を開始した。
3月	川崎市消防団の消防団員の定員を定める規則の一部改正により、麻生消防団の定員は168人となり、153人から15人増となった。
4月	第17代署長山本勉氏が定年退職し、第18代署長に石渡英幸氏が就任した。 王禅寺出張所に市内28隊目となる救急隊1隊が配置され、職員数が9人増の160人となった。
6月	麻生消防団発足以来、初となる女性消防団員14名が入団した。
12月	第18期麻生地区婦人消防隊委員長に、小石陽子氏が就任した。 麻生消防署本署に査察車(Ⅱ型)が更新配置された。
平成31年1月	麻生消防署本署に高規格救急車が更新配置され、旧高規格救急車が麻生消防署の非常用救急車として更新配置された。
2月	麻生消防団柿生分団昭和班と東柿生分団真福寺班に小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
令和元年6月	第5代麻生防火協会会長小澤智氏が勇退し、第6代会長に土方泰司氏が就任した。 第6代麻生消防ボランティア委員会委員長和田実氏が勇退し、第7代委員長に坂本正氏が就任した。
9月	麻生消防団東柿生分団下麻生班と早野班に小型動力ポンプ付積載車が更新配置された。
令和2年3月	麻生地区婦人消防隊委員会を解散した(川崎市婦人消防隊委員会も同時解散)。
8月	麻生消防団にボートが配置された。
11月	栗木出張所に高規格救急車が更新配置された。
令和3年2月	麻生消防署本署にポンプ積載車が更新配置された。
4月	第18代署長石渡英幸氏が定年退職し、第19代署長に秋葉達也氏が就任した。 第6代麻生消防団団長土方茂氏が勇退し、第7代団長に越畑好夫氏が就任した。
7月	第6代麻生防火協会会長土方泰司氏が勇退し、第7代会長に土方茂氏が就任した。
令和4年2月	麻生消防署本署に指揮車が更新配置された。
4月	消防署における組織の一部改正に伴い、現行の予防課消防団担当係長が廃止され、副署長が予防課担当課長「消防団」兼務となり、予防課消防団・防災支援係が新設された。
12月	百合丘出張所に消防車(CD1)が更新配置された。

- 令和5年3月 柿生出張所に救急車（高規格救急車）が更新配置された。
- 4月 第19代署長秋葉達也氏が定年退職し、第20代署長に重松純氏が就任した。
- 6月 第7代団長越畑好夫氏が勇退し、第8代団長に碓井純氏が就任した。
- 第7代麻生消防ボランティア委員会委員長坂本正氏が勇退し、第8代委員長に内山曜子氏が就任した。
- 令和6年3月 麻生消防署本署に、川崎白百合ライオンズクラブから、結成50周年事業として、演台と心肺蘇生法教育簡易モデルが寄贈された。
- 王禅寺出張所に救急車（高規格救急車）が更新配置された。
- 令和7年1月 麻生消防署本署に、広報車I（ニッサン、セレナハイブリット）が更新配置された。
- 2月 麻生消防署本署に、第1部隊（消防ポンプ自動車800L水槽付き）が更新配置された。
- 麻生消防署本署に、救急車（高規格救急車）が配置更新された。
- 麻生消防署本署に、川崎市初の屈折はしご付消防自動車が配置更新された。
- 4月 第20代署長重松純氏が定年退職し、第21代署長に金子正和氏が就任した。
- 6月 第8代団長碓井純氏が勇退し、第9代団長に碓井芳春氏が就任した。
- 第7代麻生防火協会会長土方茂氏が勇退し、第8代会長に越畑好夫氏が就任した。
- 7月 麻生消防関係団体創立40周年記念式典・祝賀会を、ホテルモリノ新百合丘にて実施した。

管内概況

(令和7年3月末日現在)

署所別	世帯	人口
本署	17,006	36,927
百合丘	22,388	44,042
柿生	16,099	31,753
王禅寺	18,577	38,005
栗木	11,596	27,028
合計	85,666	177,755

総務企画局情報管理部統計情報課(町丁別世帯数と人口)より抜粋

消防庁舎概要

(令和7年4月1日現在)

署所別	所在地	開設年月	庁舎概要
本署 ☎ 951-0119 FAX 951-0221	万福寺 1-5-4	昭和60年7月	RC3階建 延面積 1,492.57㎡ 附属建物 自転車置場 倉庫
百合丘 ☎ 966-0119 FAX	百合丘 1-18-4	昭和38年5月 平成2年11月(改築)	RC2階建 延面積 410.93㎡ 附属建物 自転車置場 倉庫 ホース乾燥塔
柿生 ☎ 989-0119 FAX	片平 2-30-7	昭和44年4月 平成26年3月(改築)	RC2階建 延面積 761.77㎡ 附属建物 自転車置場 油庫 ホース乾燥塔
王禅寺 ☎ 954-0119 FAX	王禅寺東 4-1-6	昭和52年5月 平成30年2月(改築)	RC2階建 延面積 314.74㎡ 附属建物 油庫 ホース乾燥塔
栗木 ☎ 987-0119 FAX	栗木台 4-2-1	平成26年4月	RC2階建 延面積 598.07㎡ 附属建物 訓練塔 ホース乾燥塔

署所の受持区域・隣接応援区域

(令和7年4月1日現在)

署 所 別	受 持 区 域	隣 接 都 市 応 援 区 域
本 署	細山、古沢、向原1～3丁目 千代ヶ丘1～9丁目 金程1～4丁目、万福寺 万福寺1～6丁目 上麻生1～4丁目	
百 合 丘	百合丘1～3丁目 東百合丘1～4丁目 高石1～6丁目 細山1～8丁目 多摩美1・2丁目	
柿 生	五力田1～3丁目、片平 片平1～8丁目、上麻生 上麻生5～7丁目 岡上、岡上1～6丁目	町田市のうち ※三輪町・三輪緑山1～4丁目 金井ヶ丘（和光大学構内のみ） 〔東柿生分団 岡上班〕
王 禅 寺	王禅寺、王禅寺東1～6丁目 王禅寺西1～8丁目 白山1～5丁目、早野 下麻生、下麻生1～3丁目 虹ヶ丘1～3丁目	横浜市青葉区のうち すすき野1～3丁目 もみの木台 荇子田1～3丁目 ※鉄町、寺家町 〔東柿生分団下麻生班〕 ※鴨志田町 〔東柿生分団 早野班〕
栗 木	はるひ野1～5丁目 栗木、栗木1～3丁目 栗木台1～5丁目 栗平1・2丁目、白鳥1～4丁目 黒川、南黒川、五力田	多摩市のうち 永山4・5丁目 諏訪4～6丁目 聖ヶ丘3～5丁目 稲城市のうち ※平尾1～4丁目 〔麻生東分団 細山班〕 ※坂浜のうち長峰、若葉台以南 若葉台2・3丁目 〔柿生分団 黒川班〕

注 ※〔 〕は、消防団の同時応援を示す。

麻生消防署・消防団管内図

凡 例

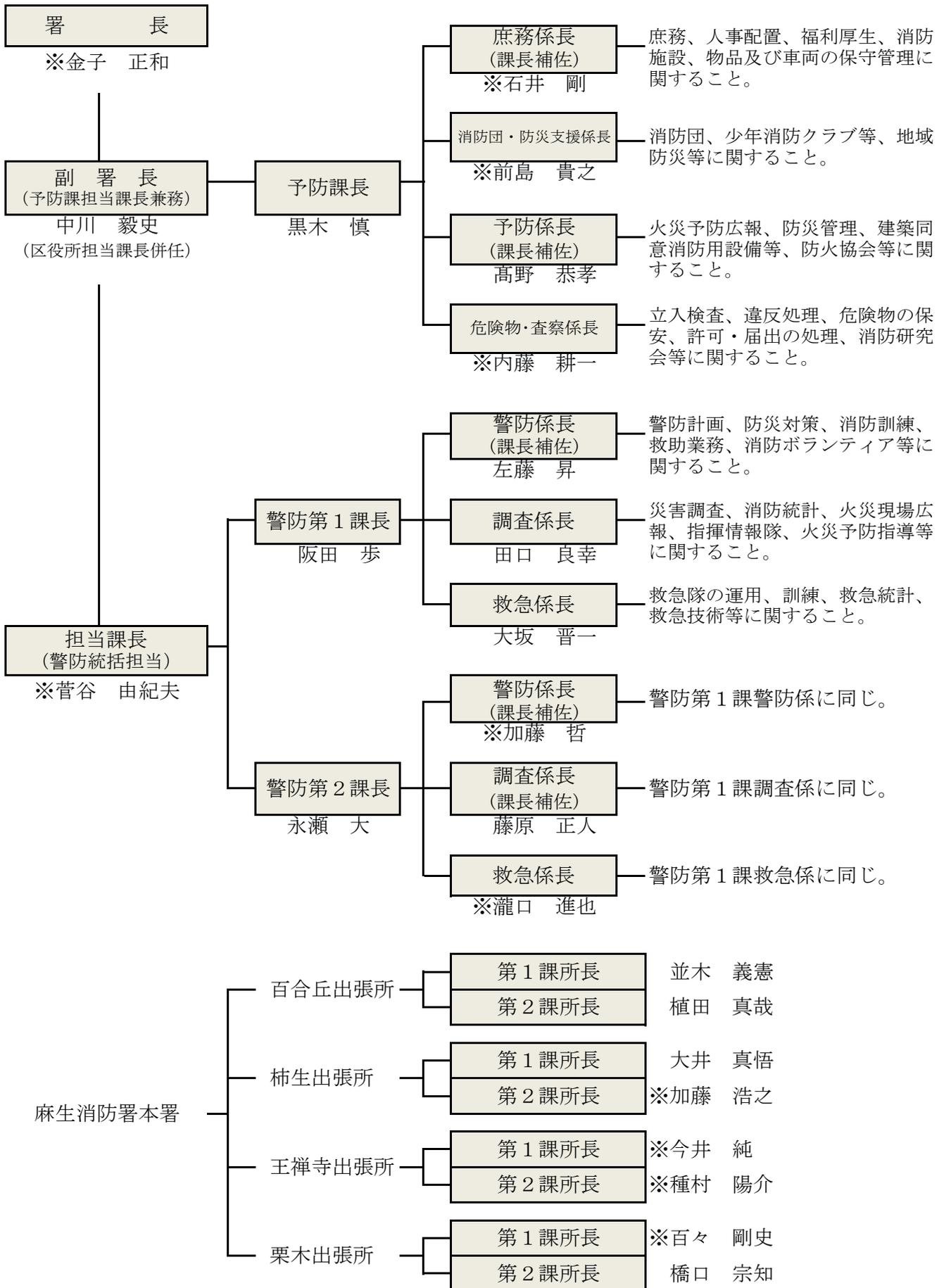
- 本 署 : (Y)
- 出張所 : (Y)
- 団本部 : (△)
- 班 : (△)



麻生区全体の面積 23.11km²

麻生消防署の組織及び事務分掌

令和7年4月1日現在



職員数162名(会計年度任用職員を含む) ※印は新任者

署 員 の 配 置 状 況

(令和7年4月1日現在)

階級 署所	消防監	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	会計年度 任用職員	計
本 署	1	5	12	18 (1)	24 (2)	0	19	5 (3)	84 (6)
百合丘			2	3	4	0	3		12 0
柿 生			2	5	9 (2)	2	4		22 (2)
王禪寺			2	6	7	0	7		22 0
栗 木			2	5	8 (1)	0	7 (1)		22 (2)
合 計	1	5	20	37 (1)	52 (5)	2	40 (1)	5 (3)	162 (10)

※ 署員数 162 人 (会計年度任用職員5人含む)

※ ()内は、女性職員で内数です。

署 員 の 居 住 地 分 布 状 況

(令和7年4月1日現在)

川 崎 市 内	人 員	川 崎 市 外	人 員
川 崎 区	2	横 浜 市	23
幸 区	6	相 模 原 市	9
中 原 区	6	前記以外の県内	27
高 津 区	2	東 京 都	45
宮 前 区	6	そ の 他	4
多 摩 区	20		
麻 生 区	12		
小 計	54	小 計	108
合 計		162	

(合計に会計年度任用職員5人含む)

署所の配置車両

(令和7年4月1日現在)

区 分	本 署	百合丘	柿 生	王禅寺	栗 木	合 計
普通ポンプ車	1	2 (1)	1	1	1	6 (1)
水槽付ポンプ車	1				1 (1)	2 (1)
はしご車	1					1
救助工作車	1					1
救急車	2 (1)		1	1	1	5 (1)
指揮車	1					1
ポンプ積載車	1					1
広報車	2					2
査察車	1					1
調査車	1					1
合 計	12 (1)	2 (1)	2	2	3 (1)	21 (3)

注 () 内は、非常用車両で内数です。

警 防 用 資 器 材 の 配 置 状 況

(令和7年4月1日現在)

区 分		麻生消防署
測定器	ガス検知器（4成分）	8
照明器具	携帯型探照灯	9
	携帯用投光器	41
呼吸器	空気呼吸器	56
	空気呼吸器用ボンベ	143
	酸素呼吸器用ボンベ	10
放水器具	定圧金具	9
	可変ノズル（50×6、65×7）	13
	ダブルコントローラーノズル	12
	ガンタイプノズル	20
	エアフォーホームノズル	7
	フォグガン	2
	ターレット	1
	無反動管そう	1
	ポータブル・キャフス	1
ホース	20m（50mm）	151
	20m（65mm）	293
その他	防火衣	152
	防毒衣	0

救助用資器材の配置状況(1)

(令和7年4月1日現在)

区 分		麻生消防署
高度救助用器具	夜間暗視装置	0
	熱画像直視装置	1
	地中音響探知機	0
	画像探査装置	0
	電磁波探査装置	0
	二酸化炭素探査装置	0
	地震警報器	0
	水中探査装置	0
検索用器具	簡易画像探索機(プロカム)	1
一般救助用器具	かぎ付はしご	3
	三連はしご(鋼製)	0
	三連はしご(チタン製)	1
	ワイヤーはしご	2
	滑車	14
	墜落用静止器具(フルハーネス)	13
	サバイバースリング	2
	救命索発射銃	1
	空気式救助マット	1
	平担架	1
	バスケット担架	2
	重量物排除用器具	大型油圧スプレッダー
小型油圧救助器具(ユニツール)		1
可搬ウインチ		2
チェンブロック		0
マンホール救助器具		1
マット型空気ジャッキ一式		1
マット型空気ジャッキ一式(小型)		1
救助用支柱器具		1
切断用器具	大型油圧切断機	1
	エンジンカッター	5
	チェーンソー	1
	鉄線カッター	3
	空気切断機(エアツール)	1
	空気鋸(エアソー)	1
	コンクリート切断用チェーンソー	1
	ガス溶断器(ペトロゲン)	1
破壊用器具	削岩機	2
	携帯用コンクリート破壊器具(ストライカー)	2
	ハンマー	1
	万能斧	5
	ハンマドリル	3
	充電式破壊器具	3

救助用資器材の配置状況(2)

(令和7年4月1日現在)

区 分		麻生消防署
検知・測定用器具	生物剤検知器	1
	有毒ガス測定器(4成分)	2
	放射線測定器(中性子線測定器含む)	6
	個人用線量計	75
呼吸保護用器具	空気呼吸器(警防用資機材分を除く)	5
	酸素呼吸器	15
	簡易呼吸器	0
	送排風機	1
	エアラインマスク	0
隊員保護用器具	防毒マスク	21
	携帯警報器	5
	耐電衣	8
	防毒衣	0
	陽圧式化学防護服	7
	放射能防護消火服	4
	放射線防護衣	5
耐熱服	4	
除染用器具	除染シャワー	3
	除染剤散布器	3
その他の救助用器具	投光器一式	1
	携帯投光器	8
	携帯拡声器	5
	ロープ登降機	1
	応急処置セット	1
	車両移動器具	2
	その他の携帯救助工具	1
	発電機(1200W以上)	2
	発電機(1200W未満)	1
水難救助用器具	潜水器具一式	0
	水難用空気ボンベ	0
	流水救助器具一式	5
	救命胴衣	39
	水中投光器	1
	救命浮環	14
	浮標	0
	アルミ製折畳みボート	1
	救助用ゴムボート	3
	船外機	3
	水中スクーター	0
	水中無線機	0

消 防 水 利 等 の 状 況

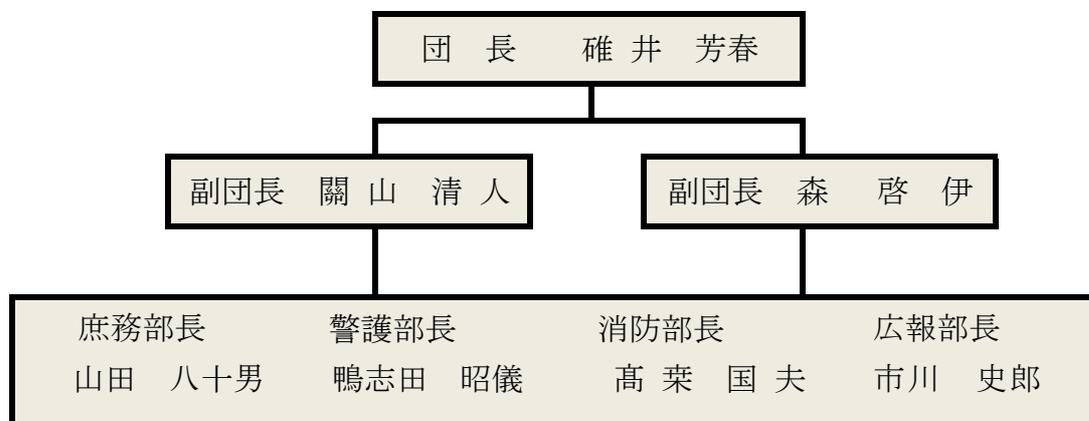
(令和7年4月1日現在)

区 分		署 所 別	本 署	百合丘	柿 生	王禅寺	栗 木	計
消 火 栓	公 設	地 下 単 口	589	641	484	655	542	2,911
		地 下 双 口	239	148	169	191	221	968
		地 上 双 口	0	0	0	0	0	0
		小 計 (a)	828	789	653	846	763	3,879
	私 設	地 下 式	2	8	0	47	2	59
		地 上 式	0	0	0	0	0	0
		小 計 (b)	2	8	0	47	2	59
防 火 水 槽	公 設	40 m ³ 未 満	0	0	0	0	0	0
		40 m ³ ~ 100 m ³ 未 満	32	22	14	17	24	109
		100 m ³ 以 上	4	0	4	11	7	26
		小 計 (c)	36	22	18	28	31	135
		公 設 標 識 柱	34	22	18	28	30	132
		広 告 付 標 識 柱	0	0	0	0	0	0
		そ の 他 の 標 識	0	0	0	0	0	0
	私 設	40 m ³ 未 満	0	0	0	0	0	0
		40 m ³ ~ 100 m ³ 未 満	5	5	10	15	6	41
		100 m ³ ~ 200 m ³ 未 満	0	0	0	1	0	1
		200 m ³ ~ 500 m ³ 未 満	0	0	0	0	0	0
		500 m ³ ~ 1000 m ³ 未 満	0	0	0	0	0	0
		1000 m ³ 以 上	0	0	0	0	0	0
		小 計 (d)	5	5	10	16	6	42
標 識	5	5	8	5	4	27		
そ の 他 の 水 利	プ ー ル	5	4	3	5	4	21	
	河 川 ・ 溝 等	0	0	13	5	0	18	
	濠 ・ 池 等	0	0	0	5	0	5	
	海 ・ 湖	0	0	0	0	0	0	
	貯 水 施 設	0	0	1	1	0	2	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	
	小 計 (e)	5	4	17	16	4	46	
合 計 (a+b+c+d+e)		876	828	698	953	806	4,161	

麻生消防団の組織及び人員

(令和7年4月1日現在)

※ 団本部



女性消防団員 12人

※ 分 団

分団名	分団長	副分団長	部 長	班 名	班 長
麻生東分団 (22人)	木下 順一	富田 英士 箕 輪 淳	松澤 浩市 白井 健一郎	細山班 高石班	白井 秀一 小森 健二
柿生分団 (52人)	阿部 博志	市川 国彦 古橋 裕司	佐藤 直哉 長瀬 隼人	黒川班 栗木班 昭和班 片平班 上麻生班	立川 幸宏 石井 誠 三上 哲男 杉田 孝男 鍋島 将行
東柿生分団 (46人)	緒方 和哉	江刺家伸洋 河原田崇行	石井 伸浩 志村 満博 川田 健博	岡上班 下麻生班 早野班 王禅寺班 真福寺班	井川 勝 市川 達也 新原 福美 松本 明裕 石井 勉

現員140人 (定員168人)

消防団器具置場施設の現況

(令和7年4月1日現在)

分団名	班名	所在地	建築物等				
			建築年月日	敷地面積(m ²)	構造	建築延面積(m ²)	工作物
麻生東分団	細山	細山2-11-1	昭和62年 3月	119.84	鉄骨造屋 平	46.98	ホース乾燥柱
	高石	高石4-15-7	平成17年 2月	102.9	鉄骨造階 2	72.00	ホース乾燥柱
柿生分団	黒川	黒川1-1	平成 3年12月	64.89	鉄筋コンク リート造階 2	60.30	ホース乾燥柱 サイレン
	栗木	栗木台4-2-1	平成 4年12月	144.88	鉄骨造階 2	67.21	ホース乾燥柱
	片平	片平7-10	平成18年10月	62.22	鉄骨造階 2	66.24	ホース乾燥柱
	昭和	五力田3-22	昭和63年 3月	167.93	鉄骨造階 2	57.96	ホース乾燥柱
	上麻生	上麻生6-27-1	昭和58年 3月	121.80	鉄骨造屋 平	40.20	
	真福寺	王禅寺西6-4-2	昭和63年 3月	137.18	鉄骨造階 2	57.96	ホース乾燥柱
東柿生分団	王禅寺	王禅寺東5-48-1	平成 3年 1月	182.14	鉄骨造階 2	63.83	ホース乾燥柱 (ロープ式)
	下麻生	下麻生3-18-8	昭和63年12月	129.17	鉄骨造階 2	57.96	
	早野	早野320-1	昭和63年12月	125.15	鉄骨造階 2	58.65	ホース乾燥柱
	岡上	岡上708	平成10年 3月	152.77	鉄骨造階 2	79.68	

消 防 団 の 配 置 車 両 等

(令和7年4月1日現在)

分 団 名	班 名	ポンプ積載車等	数	小型動力ポンプ	数
麻生東分団	細 山	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す2945	1	シバウラ B-3級 平成29年 2月	1
	高 石	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す429	1	富士ロビン B-3級 平成23年 8月	1
		対震災用台車付小型動力ポンプ (耐震25号)	-	ラビット B-3級 平成25年12月	1
柿生分団	黒 川	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800さ9717	1	富士ロビン B-3級 平成21年11月	1
	栗 木	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す428	1	富士ロビン B-3級 平成23年 8月	1
		対震災用台車付小型動力ポンプ (耐震19号)	-	ラビット B-3級 平成25年 2月	1
	片 平	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す150	1	富士ロビン B-3級 平成22年11月	1
	昭 和	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す3921	1	シバウラ B-3級 平成31年 3月	1
	上 麻 生	トヨタ 3BF-TRY230 川崎800す5941	1	シバウラ B-3級 令和5年3月	1
東柿生分団	真 福 寺	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す3920	1	シバウラ B-3級 平成31年 3月	1
	王 禅 寺	トヨタ 3BF-TRY230 川崎800す5940	1	シバウラ B-3級 令和5年3月	1
	下 麻 生	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す4226	1	シバウラ B-3級 令和元年9月	1
	早 野	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す4225	1	シバウラ B-3級 令和元年9月	1
	岡 上	ニッサン CBF-SQ2F24 川崎800す148	1	富士ロビン B-3級 平成22年11月	1
		対震災用台車付小型動力ポンプ (耐震24号)	-	ラビット B-3級 平成25年12月	1
本 団	麻 生 本 署	対震災用台車付小型動力ポンプ (麻生本団)	-	ラビット B-3級 平成25年 2月	1

消防隊災害等出場状況

(令和6年中)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出場種別														
火災出場	件数	4	1	2	1	—	2	1	1	2	2	4	4	24
	台数	35	4	15	3	—	22	4	12	26	12	22	30	185
	人員	147	14	70	12	—	111	16	59	97	63	96	144	829
管外応援	件数	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	2
	台数	—	—	—	—	4	—	—	—	—	1	—	—	5
	人員	—	—	—	—	17	—	—	—	—	4	—	—	21
P A そ の 他	件数	41	32	43	28	24	22	46	41	38	28	43	60	446
	台数	56	39	55	34	29	28	49	54	45	38	52	70	549
	人員	226	155	222	137	114	108	194	218	182	154	212	282	2,204
救 助	件数	13	12	13	7	6	9	12	9	9	9	7	12	118
	台数	43	40	41	23	19	29	38	28	30	28	21	39	379
	人員	183	162	176	99	82	123	162	122	129	119	91	168	1616
誤 報	件数	4	—	—	3	—	1	1	1	2	2	5	1	20
	台数	14	—	—	5	—	1	2	1	15	10	7	1	56
	人員	60	—	—	20	—	4	8	4	54	55	29	4	238
虚 報	件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	台数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	人員	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4	—	—	4
出場合計	件数	58	45	58	36	30	21	29	36	49	40	54	76	532
	台数	134	83	111	60	108	51	74	96	101	79	95	139	1,131
	人員	556	331	468	248	433	216	299	382	408	340	399	594	4,674

※ 出場合計は、出場種別の「火災出場」「管外応援」「P A その他」「救助」を合計したものです。

※ 誤報、虚報にあつては合計の内数です。

消 防 団 の 活 動 状 況

(令和6年中)

活動内容		月 別												合 計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火 災	件数	1					1		1	1			2	6
	人数	17					25		20	12			41	115
	台数	2					3		2	0			5	12
非 火 災	件数			1			1					1		3
	人数			10			16					12		38
	台数			1			1					1		3
誤 報	件数	1								1	1			3
	人数	9								15	16			40
	台数	0								2	0			2
虚 報	件数													0
	人数													0
	台数													0
管外応援	件数	2					1		1					4
	人数	10					6		5					21
	台数	1					0		0					1
警 備	件数	13						1	1			1	12	28
	人数	78						4	9			3	339	433
	台数	14						1	1			1	74	91
訓 練	件数	2	1	4	1	4	3		2	2	1	1	4	25
	人数	114	10	37	65	108	222		30	20	5	66	127	804
	台数	13	0	3	12	12	29		5	0	0	12	11	97
幹部会議	件数	1	1	1	1	1	2	1		1	1	1	1	12
	人数	10	10	10	10	9	18	10		10	10	10	10	117
	台数	0	0	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0
自 主 防	件数		1									5	1	7
	人数		3									21	8	32
	台数		1									4	2	7
※その他	件数	(1)	(3)		(1)	(2)	(3)		(2)		(2)	(2)	(13)	
	人数	(8)	(11)		(4)	(9)	(17)		(8)		(6)	(5)	(33)	
	台数													
合 計	件数	20	3	6	2	5	8	2	5	5	3	9	20	88
	人数	238	23	57	75	117	287	14	64	57	31	112	525	1,600
	台数	30	1	4	12	12	33	1	8	2	0	18	92	213

※その他については女性団員の活動状況を(内数)で表しています。

訓練指導等の業務件数

(令和6年度)

月 別	業 務 別	消 防 訓 練 指 導	高 齢 者 防 火 指 導	救 急 法 指 導	消 防 署 見 学 等 児 童 の 体 験 学 習	指 輪 の 切 断
4 月		1	0	0	1	0
					2	
5 月		3	0	0	3	1
					123	
6 月		1	0	0		3
7 月		3	0	0		0
8 月		1	0	1		2
9 月		5	0	1	1	2
					3	
10 月		11	0	0	2	4
					68	
11 月		14	1	1	3	1
					18	
12 月		3	1	0		1
1 月		1	0	0	7	3
					78	
2 月		0	3	1	2	3
					16	
3 月		4	0	0	2	0
					36	
合 計		47	5	4	21	20
					344	

* 下段は、人数

防火対象物の現況

(令和7年3月31日現在)

消防法施行令別表による区分			内 訳		合 計
			1 種	2 種	
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1		1
	ロ	公会堂・集会場			0
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等			0
	ロ	遊技場・ダンスホール	1		1
	ハ	ファッションマッサージ・テレクラ等			0
	ニ	カラオケボックス等			0
3	イ	待合・料理店等			0
	ロ	飲食店	21		21
4		百貨店・マーケット等	37		37
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	1		1
	ロ	寄宿舍・下宿又は共同住宅		323	323
6	イ	(1)～(4) 病院・診療所又は助産所	14		14
	ロ	(1)～(5) 老人福祉施設・障害者支援施設等	45		45
	ハ	(1)～(5) 保健所・老人サービスセンター等	60		60
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	7		7
7		小・中・高・大学校等各種学校等		38	38
8		図書館・博物館・美術館等			0
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1		1
	ロ	その他の公衆浴場		1	1
10		停車場等			0
11		神社・寺院・教会等		7	7
12	イ	工場又は作業場		12	12
	ロ	映画・テレビスタジオ等			0
13	イ	自動車車庫又は駐車場			0
	ロ	飛行機等の格納庫			0
14		倉庫		1	1
15		前各号に該当しない事業場		75	75
16	イ	特定防火対象物の存する複合用途	167		167
	ロ	上記以外の複合用途		52	52
16 の 2		地下街			0
16 の 3		準地下街			0
17		重要文化財等			0
18		アーケード			0
19		山林			0
20		舟車			0
合 計			355	509	864

中高層建築物の現況 (令和6年中)

区 分	本 署	百合丘	柿 生	王禅寺	栗 木	計
5 階	49	90	41	98	34	312
6 階	20	22	21	6	15	84
7 階	12	17	18	9	10	66
8 階	10	4	2	20	1	37
9 階	3	9	1	1	1	15
10 階	9	13	1	4	0	27
11 階	2	2	0	3	0	7
12 階	1	0	1	2	0	4
13 階	2	0	0	4	0	6
14 階	8	1	0	3	0	12
15 階	0	0	0	0	0	0
16 階	0	0	0	0	0	0
17 階	0	0	0	0	0	0
合 計	116	158	85	150	61	570
1.5m未満	17	56	28	90	13	204
1.5m以上2.0m未満	46	57	52	19	41	215
2.0m以上2.5m未満	12	17	3	22	7	61
2.5m以上3.0m未満	12	19	1	3	0	35
3.0m以上4.0m未満	19	9	1	13	0	42
4.0m以上5.0m未満	10	0	0	3	0	13
5.0m以上6.0m未満	0	0	0	0	0	0
6.0m以上	0	0	0	0	0	0
合 計	116	158	85	150	61	570

危険物施設の現況

(令和7年3月31日現在)

区 分		署 所 別					合 計	
		本 署	百合丘	柿 生	王禅寺	栗 木		
事 業 別	自衛消防隊組織該当事業所						0	
	施設保安員該当事業所						0	
	予防規程該当事業所		3	4	1	2	1	11
	上記に該当しない事業所		4	3	4	2	9	22
	合 計		7	7	5	4	10	33
施 設 別	施設保安員 該当施設	製 造 所						0
		一 般 取 扱 所						0
	予 防 規 程 該 当 施 設	製 造 所						0
		屋 内 貯 蔵 所						0
		屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所						0
		屋 外 貯 蔵 所						0
		営 業 用 給 油 取 扱 所	3	3	1	2	1	10
		一 般 取 扱 所		1				1
	予 防 規 程 に 該 当 し な い 施 設	製 造 所						0
		屋 内 貯 蔵 所	2		1	1	4	8
		屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所						0
		屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		1	1		1	3
		地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	3	4	3		5	15
		簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所						0
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所			8				8	
屋 外 貯 蔵 所							0	
自 家 用 給 油 取 扱 所		1			2		3	
第 1 種 販 売 取 扱 所							0	
第 2 種 販 売 取 扱 所						0		
一 般 取 扱 所	2				2	4		
合 計		11	17	6	5	13	52	

少量危険物施設の現況

(令和7年3月31日現在)

施設別 署所別	屋 内	屋 外	屋 内	屋 外	地 下	移 動	取扱所	合 計
	貯蔵所	貯蔵所	タンク 貯蔵所	タンク 貯蔵所	タンク 貯蔵所	タンク 貯蔵所		
本 署	15		7	5		1	3	31
百 合 丘	13	1	2	7	2	1	3	29
柿 生	14		7	11			2	34
王 禅 寺	17		6	14	1	2	8	48
栗 木	14	2	4	32			3	55
合 計	73	3	26	69	3	4	19	197

月別火災件数・損害額等

(令和6年中)

区分 月別	火 災 件 数				焼損面積 (m ²)	損 害 額 (千円)	死 者 (人)	傷 者 (人)
	建 物	車 両 (船含む)	その他	計				
1	4	0	2	6	98	4,375	0	0
2	0	0	1	1	0	0	0	0
3	1	0	2	3	0	3	0	0
4	2	0	0	2	0	5	0	0
5	3	0	0	3	1	11	0	0
6	2	0	0	2	0	2	0	0
7	1	0	1	2	0	0	0	1
8	2	0	2	4	10	13	0	0
9	1	0	0	1	0	1	0	0
10	2	0	1	3	0	2	0	1
11	0	0	0	0	0	0	0	0
12	4	1	1	6	1	209	0	0
合 計	22	1	10	33	110	4,621	0	2
川崎市	282	21	94	398	5,436	348,194	14	72
比 率	8%	5%	11%	8%	2%	1%	0%	3%

過去5年間の火災統計推移

区 分		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
火災件数		33	19	31	24	33
区 分	建 物	22	10	18	15	22
	車 両	1	4	2	2	1
	そ の 他	10	5	11	7	10
焼 損 面 積 (㎡)		168	113	282	606	110
損 害 額 (千円)		16,705	8,626	6,564	37,446	4,621
焼 損 棟 数		23	15	28	22	24
死 者		1	0	0	0	0
傷 者		10	6	6	3	2
り 災 世 帯		36	14	23	17	19
り 災 人 員		66	36	50	41	45
出 火 原 因 別	放火(疑い含む)	3	3	9	4	2
	た ば こ	3	3	3	4	3
	こ ん ろ	10	2	3	0	6
	火 遊 び	1	0	0	1	2
	ス ト ー ブ	2	1	1	0	1
	た き 火	0	0	0	1	2
	電 気 関 係	5	4	8	8	7
	溶 接 の 火 花	0	1	0	0	0
	そ の 他	9	5	7	6	10

過去5年間の町名別火災件数

署所	町名別	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
本署	細山					
	向原1～3丁目			1		
	金程1～4丁目					
	千代ヶ丘1～9丁目	2		1		
	万福寺					
	万福寺1～6丁目	1	2	2	5	3
	上麻生1～4丁目	3	1	1	1	4
	古沢			1	1	1
百合丘	細山1～8丁目	1			1	
	多摩美1～2丁目	2	1			
	高石1～6丁目	3	3	4	1	
	百合丘1～3丁目	1	2	1	1	3
	東百合丘1～4丁目	3		1		2
柿生	五力田1～3丁目		1	1		2
	片平	2				
	片平1～8丁目	1	2	5	4	
	上麻生					
	上麻生5～7丁目	2		3	2	3
	岡上	2		1		5
王禅寺	王禅寺			1	1	
	王禅寺東1～6丁目	1	1	2	2	
	王禅寺西1～8丁目	4			1	1
	白山1～5丁目	1		1		
	虹ヶ丘1～3丁目		2			
	下麻生1～3丁目	1		1	2	1
	下麻生					
	早野					
栗木	はるひ野1～5丁目		2	2		
	栗木、栗木1～3丁目	1				
	栗木台1～5丁目					
	栗平1～2丁目	1			1	1
	白鳥1～4丁目	1	1			3
	黒川、南黒川、五力田		1	2	1	4
	計	33	19	31	24	33

救急活動状況

(令和6年中)

区分 月別	事故種別								合計	
	急病		交通		一般		その他			
	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員
1	576	483	26	23	144	133	74	52	820	691
2	530	449	21	17	122	111	67	52	740	629
3	482	419	29	27	139	127	69	49	719	622
4	457	387	21	14	122	113	66	47	666	561
5	500	428	29	26	125	112	68	49	722	615
6	531	438	29	23	121	111	65	38	746	610
7	707	585	31	30	134	119	81	56	953	790
8	658	542	21	20	137	119	67	47	883	728
9	479	413	24	21	112	94	73	44	688	572
10	517	438	20	16	129	115	70	51	736	620
11	538	476	23	19	141	130	68	46	770	671
12	710	590	34	30	149	128	90	74	983	822
合計	6,685 (70.9%)	5,648 (71.2%)	308 (3.3%)	266 (3.4%)	1,575 (16.7%)	1,412 (17.8%)	858 (9.1%)	605 (7.6%)	9,426 (100.0%)	7,931 (100.0%)
令和5年中	6,612 (71.4%)	5,573 (71.6%)	286 (3.1%)	258 (3.3%)	1,449 (15.7%)	1,300 (16.7%)	910 (9.8%)	652 (8.4%)	9,257 (100.0%)	7,783 (100.0%)
増・減	73	75	22	8	126	112	-52	-47	169	148

()内は合計の件数および搬送人員に対する事故種別の構成比を示す。

上記の件数、人員数については、麻生救急隊、柿生救急隊、王禅寺救急隊、栗木救急隊を合算したもの。

救急隊別出場件数・搬送人員

(令和6年中)

区分	麻生救急隊	柿生救急隊	王禅寺救急隊	栗木救急隊	合計
出場件数	2,898	2,192	2,622	1,714	9,426
不搬送	520	354	433	200	1,507
搬送人員	2,385	1,839	2,191	1,516	7,931

行政区別救急出場件数

(令和6年中)

行政区 隊別	麻生区	多摩区	宮前区	その他の区	川崎市外	合 計
麻生救急	2,520	282	60	36	0	2,898
	86.96%	9.73%	2.07%	1.24%	0.00%	100.0%
柿生救急	2,057	81	31	23	0	2,192
	93.84%	3.70%	1.41%	1.05%	0.00%	100.0%
王禅寺救急	2,174	261	144	43	0	2,622
	82.91%	9.95%	5.49%	1.64%	0.00%	100.0%
栗木救急	1,629	58	12	13	2	1,714
	95.04%	3.38%	0.70%	0.76%	0.12%	100.0%
合 計	8,380	682	247	115	2	9,426
	88.90%	7.24%	2.62%	1.22%	0.02%	100.0%

- 麻生区の出場は全体の88.90%で、多摩区への出場は7.24%、宮前区への出場は2.62%です。
- 川崎市外は、発生場所が稲城市、町田市、横浜市であったものです。

過去4年間の救急統計推移

区 分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	
事 故 種 別	火 災	18	23	16	10
	自然災害	0	0	2	2
	水 難	0	0	1	0
	交 通	283	277	286	308
	労 災	46	37	37	52
	運 動	20	15	22	27
	一 般	1,192	1,356	1,449	1,571
	加 害	23	33	38	26
	自 損	52	69	83	66
	急 病	4,914	6,389	6,612	6,689
	転 院	541	578	506	458
	そ の 他	153	182	205	217
出 場 件 数 合 計	7,242	8,959	9,257	9,426	

- 令和5年より、救急出場件数が169件増加しています。

消防協力団体等役員名簿

令和7年8月1日 現在

麻生防火協会

役 職	氏 名
会 長	越畑 好夫
副 会 長	碓井 純
副 会 長	岡本 義雄
副 会 長	森 孝之
副 会 長	關山 清人
会 計	森 啓伊
会 計	長谷川 一雄
監 事	鴨志田 敏彦
監 事	山田 八十男

麻生消防研究会

役 職	事 業 所 名
会 長	(株)カジノヤ
副 会 長	長瀬土地家屋調査士事務所
副 会 長	横山興産(株)
監 事	(有)麻生自動車
監 事	白山石油(株)
会 計	医療法人社団総生会

麻生地区少年消防 クラブ運営委員会

役 職	氏 名
委 員 長	宮坂 はる子
副 委 員 長	藤原 真理子
監 事	門田 真知
監 事	大藪 涼音

麻生地区幼年消防クラブ

名 称	氏 名
川崎青葉幼稚園	井上 華都也
柿の実幼稚園	小島 澄人
こうりんじ幼稚園	小森 邦子
ちよがおか幼稚園	小森 邦子
ルミエール幼稚園	箕輪 優子

麻生消防ボランティア委員会

役 職	氏 名
委 員 長	内山 曜子
副 委 員 長	小林 茂欣
副 委 員 長	志村 晃
監 事	土方 泰司
監 事	月本 琢也
会 計	小澤 智

救 急 告 示 医 療 機 関

名 称	所 在 地	電 話
医療法人社団 総生会 麻生総合病院	上麻生6-25-1	987-2522
医療法人社団 晃進会 たま日吉台病院	王禅寺1105	955-8220
医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院	古沢都古255	322-9991

休 日 急 患 診 療 所

名 称	所 在 地	電 話
川崎市麻生休日急患診療所	万福寺1-5-3	966-2133
川崎市百合ヶ丘歯科保健センター	高石4-15-5	966-2261

地震から身を守る心得10か条

- 1 あわてず まず 身の安全
- 2 すばやく火の始末 あわてず さわがず冷静に
- 3 非常脱出口を 確認する
- 4 火が出たら まず消火を
- 5 外へ逃げるときは あわてずに
- 6 狭い路地 塀ぎわ がけや川べりに近寄らない
- 7 山崩れ がけ崩れ 津波に注意する
- 8 避難は徒歩で 荷物は最小限にする
- 9 みんなが協力し合って 応急救護
- 10 正しい情報をつかみ 余震をおそれるな

【地震から身を守るわが家の防災対策】から抜粋

2025年度全国統一防火標語

『急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし』

令和7年度危険物安全週間推進標語

『危険物 無事故へ挑む ゴング鳴る』

署 勢 概 要

令和7年 月 発行

企画・編集・発行 川崎市麻生消防署

川崎市麻生区万福寺1-5-4

電 話 044-951-0119

F A X 044-951-0221